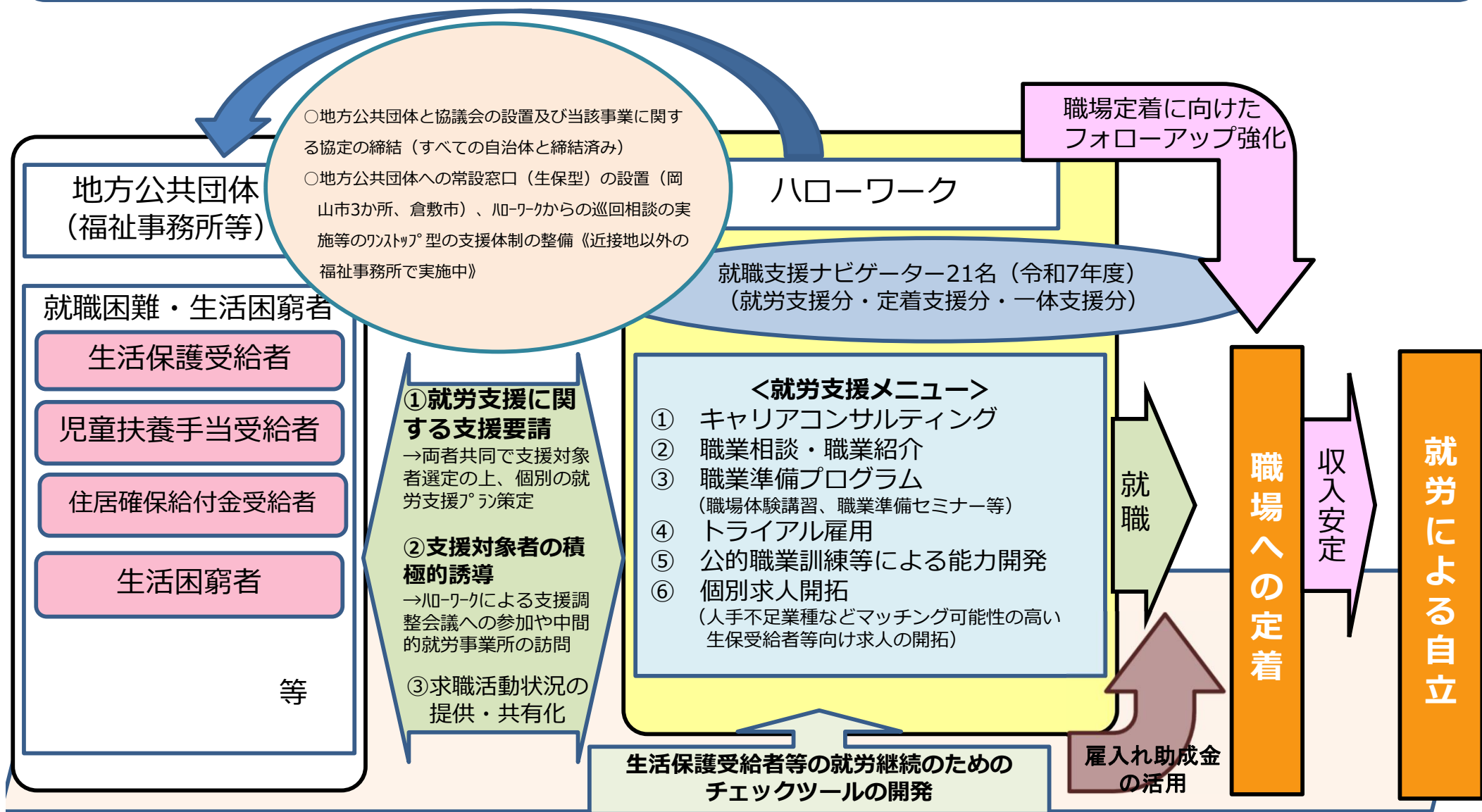


生活保護受給者等就労自立促進事業の推進

労働局・ハローワークと地方公共団体との協定等に基づく連携を基盤に、地方公共団体におけるワンストップ型の就労支援体制を全国的に整備し、生活保護受給者等の就労による自立促進事業を図る生活保護受給者等就労自立促進事業を実施してきたところです。

生活保護受給世帯数の高止まり、平成27年度に生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴う支援対象者の増等にも対応するため、地方公共団体にハローワークの常設窓口を増設する等、両機関が一体となった就労支援を更に推進することにより、支援対象者の就労による自立を促進します。



岡山市(岡山県)の一体的実施①

平成25年2月1日事業開始

北区中央福祉事務所施設内に「福祉ジョブ・サポート・スペース岡山」（愛称：ジョブ・サポ岡山）を開設。生活保護受給者等に対する早期就職支援を岡山市とハローワークが一体的に実施。（福祉事務所併設実施は県内初）

市

福祉サービス、生活相談



国

職業相談、職業紹介

① 事業内容

- ・岡山市とハローワーク岡山の双方の担当で構成される「就労支援チーム」を設置し、綿密な支援が必要な支援対象者ごとに、支援プランを作成する。
- ・担当者制(マンツーマン)により、策定したプランの進捗管理を行い、個々に選定した支援メニュー（職業相談・紹介、カウンセリング、職業訓練メニューの提供・相談等）を実施する。

② 協定・事業計画

- ・岡山市長と岡山労働局長の間で協定(*)を締結。
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岡山市と岡山労働局の間で策定。

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

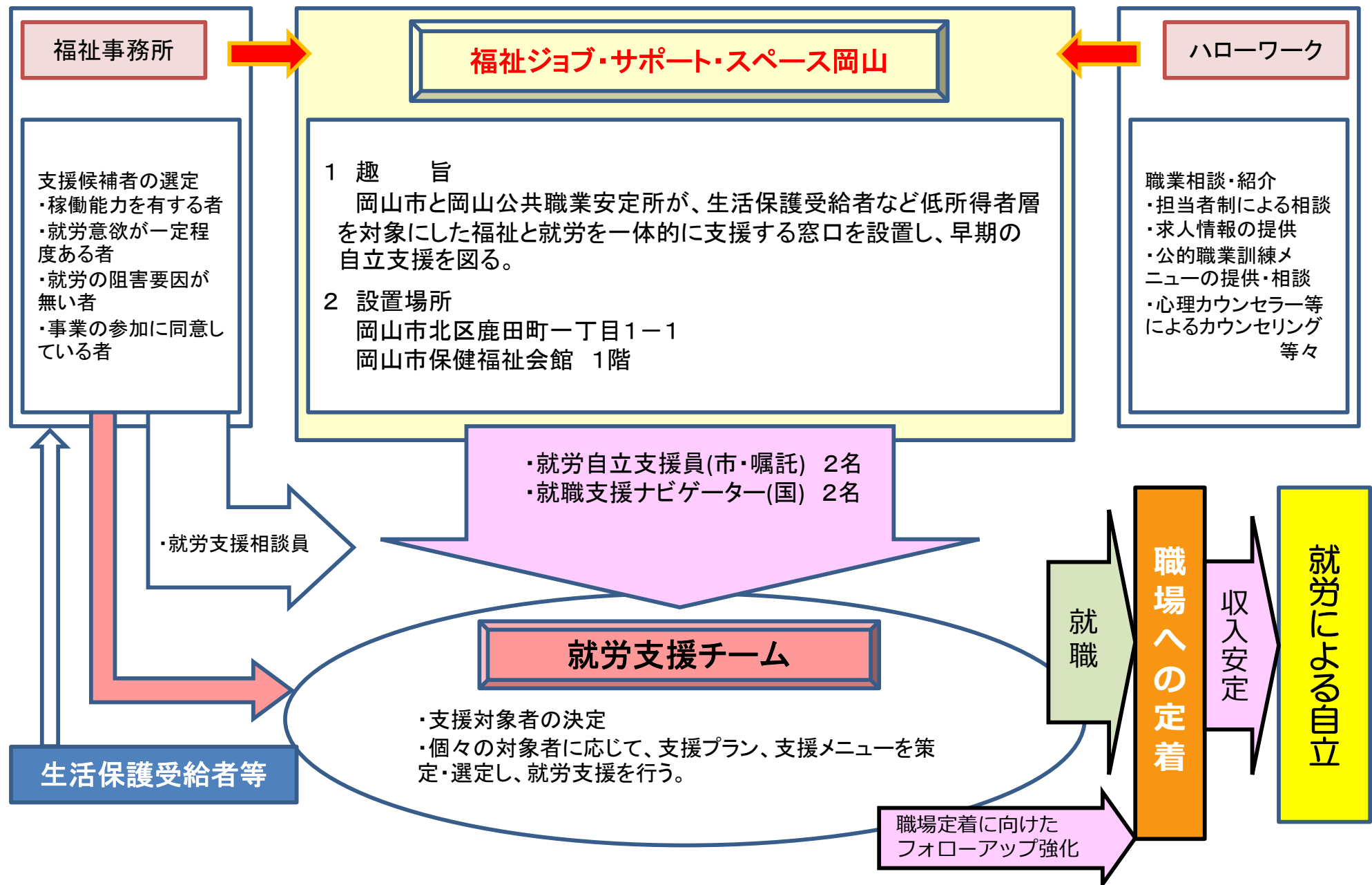
③ 実施協議会

- ・岡山市職員（福祉事務所所長を含む）、岡山労働局職員、ハローワーク岡山職員等をメンバーとする運営協議会を設置。



岡山市と国の緊密な相互連携と協働により、生活保護受給者等支援対象者の就職による早期自立の実現を図る。

福祉ジョブ・サポート・スペース岡山イメージ図



(1) 実施体制 福祉ジョブ・サポート・スペース岡山

岡山市 ・ 就労支援相談員(嘱託) 2名

国 ・ 就職支援ナビゲーター 2名
(ハローワーク) ・ 求人情報提供端末 3台、職業紹介端末 2台 配置

(2) 事業目標と取組状況

	7年度事業目標	取組状況(7年9月末時点)
生活保護受給者	○支援対象者数 135人 ○就職者数(率) 94人(69.6%)	○支援対象者数 99人 ○就職者数(率) 50人(50.5%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 135人 ・就職者数(率) 92人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 155人 ・就職者数(率) 81人(52.3%)
児童扶養手当受給者	○支援対象者数 30人 ○就職者数(率) 21人(69.6%)	○支援対象者数 25人 ○就職者数(率) 24人(96.0%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 30人 ・就職者数(率) 20人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 32人 ・就職者数(率) 32人(100.0%)
住居確保給付金受給者	○支援対象者数 3人 ○就職者数(率) 2人(69.6%)	○支援対象者数 0人 ○就職者数(率) 0人(0%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 3人 ・就職者数(率) 2人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 1人 ・就職者数(率) 1人(100.0%)
生活困窮者 (住居確保除く)	○支援対象者数 32人 ○就職者数(率) 23人(69.6%)	○支援対象者数 3人 ○就職者数(率) 3人(100.0%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 32人 ・就職者数(率) 22人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 13人 ・就職者数(率) 8人(61.5%)
合 計	○支援対象者数 200人 ○就職者数(率) 140人(69.6%)	○支援対象者数 127人 ○就職者数(率) 77人(60.6%)
	(参考)6年度事業目標 ・支援対象者数 200人 ・就職者数(率) 136人(68.1%)	(参考)6年度取組状況 ・支援対象者数 201人 ・就職者数(率) 122人(60.7%)

一体的実施事業による就職成功例（ジョブ・サポ岡山）

50歳代男性 生活保護受給者 ≪希望職種：倉庫業≫

①抱える課題

■精神面で弱い面があり就労が長続きしない。一度支援を行い駐車場管理で就職され自立していたが、仕事上のミスが原因でH26年12月に退職され再支援となる。 ■特に大きな阻害要因となるような健康状態ではなかったがあまり体力がある方ではなく、重量物などをもつ仕事はNGとなる。 ■ブランクが長く就労に対して自信を失い、全てに消極的になっている。営業や接客の実務経験はあるが、車の免許がないため応募できる職種の幅が狭い。 ■昔の経験職種と今できる仕事とのギャップがあり、作業系で応募はされるが今一つ消極的な感は否めない。

②支援内容・ポイント・経過

■希望業種は、フォークリフト資格を持っていることから倉庫業に拘っていたが、体力がついていかない面があるため清掃などにも視野を広げ、こだわりを捨てて腹をくくるよう助言を重ねる。 ■何回か急に来られなくなる時期があり引きこもる傾向が見受けられたが、あまり焦らないように、とにかく来所を促し楽観的に物事を捉えるよう指導。 ■応募しても不採用が続いたが、やっとH28年7月に倉庫業で採用された。しかし体力がついていかず1週間ほどで離職。これによりさらに自信を失う。その為フルタイムに拘らずパートでも積極的に応募していくように励まし、面接中心の清掃業に応募を促した。 ■ケースワーカーとも緊密な連携を取り情報共有に努め、福祉側からも継続してプッシュしていただいた。

③結果

■支援期間は約1年11か月、応募事業所18社目で就職決定。【職種：清掃業】

④ハローワーク担当者の所感

■支援期間が長くなりすぎ、お互いに中だるみしそうになるのを我慢しながらサポートを続けた。年齢が高くなり、体力面から考えて就労はどんどん難しくなっていたが、励ましつつ面談と応募を重ね、最後に希望の求人に採用された。本人の真面目な性格を尊重しつつゆっくりサポートする事により良い結果に結びつける事が出来た。

⑤本人のコメント

■途中就職は、無理と正直あきらめていたが励まされて応募を続けて本当によかった。途中挫折しないように頑張りたい。